

第14期

運用報告書(全体版)

新興国国債オープン (1年決算型) (愛称 アトラス(1年決算型))

【2021年8月12日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「新興国国債オープン(1年決算型)(愛称 アトラス(1年決算型))」は、2021年8月12日に第14期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運用方針	新興国国債マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、主としてJPモルガン社のGBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス・エマーGING・マーケット)ブロード・ディバースィファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等(以下、「新興国の国債等」といいます。)に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資環境の急変が起きた場合等には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	新興国国債マザーファンド	新興国の国債等を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	新興国国債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年8月12日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 委託会社が、分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債 券 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
10期(2017年8月14日)	9,062	100	15.2	243.447	13.4	82.0	—	179
11期(2018年8月13日)	8,388	100	△ 6.3	234.055	△ 3.9	82.0	—	496
12期(2019年8月13日)	8,796	100	6.1	244.435	4.4	88.2	—	520
13期(2020年8月12日)	8,879	100	2.1	249.800	2.2	82.1	—	526
14期(2021年8月12日)	9,153	100	4.2	269.446	7.9	84.5	—	539

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は、当該日前営業日のデータです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債 券 組入比率	債 券 先物比率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)		
(期首) 2020年8月12日	円	%	ポイント	%	%	%
	8,879	—	249.800	—	82.1	—
8月末	8,868	△0.1	248.457	△ 0.5	85.2	—
9月末	8,699	△2.0	244.179	△ 2.3	87.3	—
10月末	8,722	△1.8	244.784	△ 2.0	90.7	—
11月末	9,130	2.8	256.281	2.6	94.9	—
12月末	9,349	5.3	262.760	5.2	86.3	—
2021年1月末	9,246	4.1	261.314	4.6	90.2	—
2月末	9,140	2.9	262.649	5.1	93.0	—
3月末	9,030	1.7	261.471	4.7	97.1	—
4月末	9,174	3.3	266.899	6.8	95.9	—
5月末	9,410	6.0	274.751	10.0	95.8	—
6月末	9,416	6.0	273.444	9.5	96.2	—
7月末	9,305	4.8	270.543	8.3	84.0	—
(期末) 2021年8月12日	9,253	4.2	269.446	7.9	84.5	—

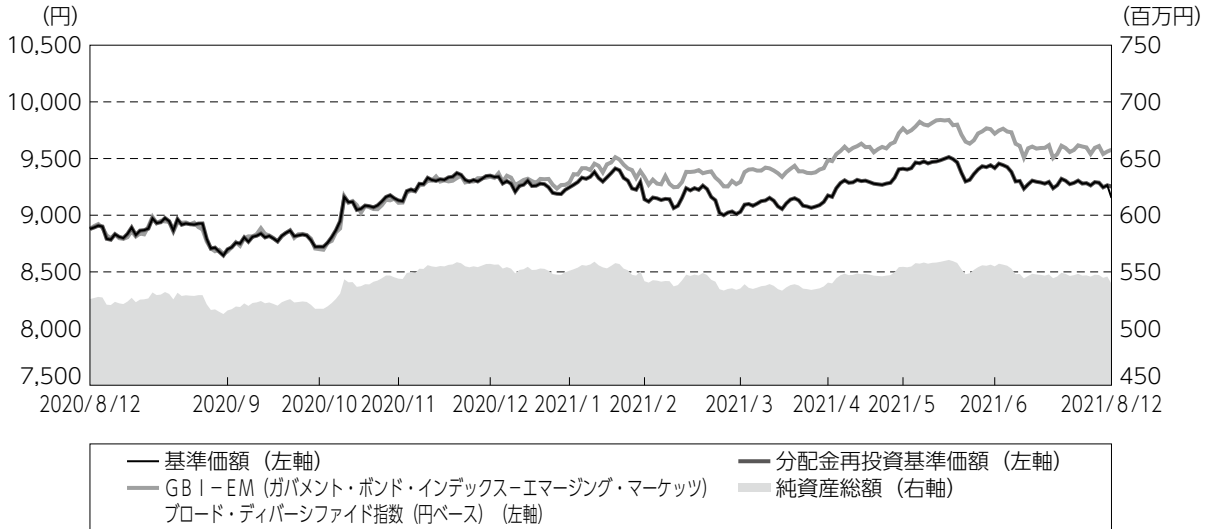
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は、J.P. Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P. Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2020年8月13日～2021年8月12日）



期 首：8,879円

期 末：9,153円 (既払分配金 (税引前)：100円)

騰落率：4.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、GB I-E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首 (2020年8月12日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「新興国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。また、インドネシア、南アフリカなどの投資国において国債利回りが低下したことを受けて、保有債券の価格が上昇したこと。
- ・南アフリカランド、メキシコペソ、中国人民元など多くの投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ブラジル、トルコ、ペルーなどの投資国において国債利回りが上昇したことを受けて、保有債券の価格が下落したこと。
- ・ペルーソル、トルコリラなどの投資通貨が対円で下落したこと。

投資環境

（2020年8月13日～2021年8月12日）

<新興国の国債市場>

新興国の国債市場では、先進国の国債利回りの上昇に連動し利回り上昇（価格下落）のスタートとなりましたが、2020年11月に実施された米国の大統領選挙後は投資家の利回り追求の動きが強まり、利回りは低下（価格は上昇）しました。2021年に入ると、米国の大規模な追加財政政策の成立や新型コロナウイルスのワクチン接種進展が世界経済の回復につながるの見方を背景に、先進国の国債利回りが大幅上昇した影響から、3月末にかけて新興国の国債利回りの上昇基調が鮮明となりました。その後は、世界経済の回復ペースの鈍化懸念から、5月中旬以降、先進国の国債利回りが低下基調となりましたが、新興国の国債利回りは全般的に高止まりする展開が続きました。当期間においては、インドネシアと南アフリカの国債利回りが低下したものの、ブラジル、トルコなどを筆頭に多くの投資国で国債利回りが上昇しました。

<為替市場>

為替市場では、欧州における新型コロナウイルスの感染再拡大や米国の大統領選挙に対する不透明感等を背景に、2020年10月末までは新興国通貨全般が対円で上値の重い展開となりました。しかし、米国の大統領選挙後は投資家のリスク選好の動きが強まり、新興国通貨が対円で急反発しました。2021年に入ると、世界的な景気回復期待の高まりに加え、内外金利差の拡大に伴い円安圧力が強まったことを受けて、6月中旬までは、新興国通貨全般が対円で堅調に推移する展開が続きました。しかし、その後は、世界経済の回復ペースの鈍化懸念が徐々に高まったことや、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融緩和策の縮小や利上げに前向きなタカ派に転換したとの観測が台頭したこと等を受けて、新興国通貨が対円で上げ幅を縮小する動きとなりました。当期間においては、投資していた11通貨のうち、南アフリカランド、メキシコペソ、中国人民元などを筆頭に8通貨が対円で上昇する一方、トルコリラ、ペルーソルなど3通貨が対円で下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2020年8月13日～2021年8月12日）

<新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>

「新興国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○新興国債マザーファンド

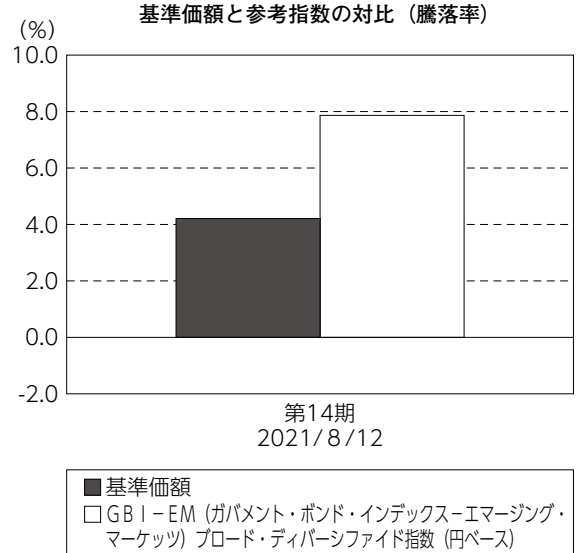
J Pモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当期間においては、11ヵ国、11通貨（日本及び円は除いています）に投資を行いました（インドへの投資はクレジット・リンク・ノート（CLN）*を通じて行いました）。当期間における新興国の国債及び通貨の投資比率は、投資環境に応じて、機動的に変化させました。特に、新興国通貨の下落リスクが懸念される場面では、新興国の国債及び通貨の投資比率引き下げや一部投資通貨に対する為替ヘッジを行い、ファンドの為替変動リスクの軽減を図りました。為替ヘッジに関しては、2021年1月下旬から2月上旬（純資産比12%程度）、3月下旬から4月上旬（純資産比30%弱）に実施しました。また、2021年1月下旬から2月上旬にかけては、米国債を8%弱組入れました。期末時点の新興国債の投資比率は85.0%、外貨の投資比率は86.3%、投資国上位は、インドネシア、中国、メキシコとなっています。前期末からの主な変化は、中国やトルコなどの投資比率が上昇する一方、マレーシアやブラジルなどの投資比率が低下しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.53年となり、前期末と比較し長期化となりました。

*クレジット・リンク・ノート（CLN）は、現地通貨建ての新興国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券です。クレジット・リンク・ノート（CLN）は、米ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて前述の分類を行っています。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年8月13日～2021年8月12日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPモルガン社の「GBI-E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）」の騰落率を3.7%下回りました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、GBI-E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

分配金

（2020年8月13日～2021年8月12日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、1万口当たり100円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第14期
	2020年8月13日～ 2021年8月12日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	1.081%
当期的収益	100
当期的収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,408

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期的収益、当期的収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

先進国の国債市場では、各国の中央銀行による金融緩和策の縮小が視野に入る一方、中国経済を筆頭に世界経済の回復ペース鈍化への懸念が高まりつつあり、当面は一進一退の展開になると想定しています。新興国においては、先進国の中央銀行の金融政策を睨んで、利回り上昇圧力が強まる場面があると見ています。しかし、先進国との利回り格差が依然として高水準を維持していることから、先進国の国債利回りが大幅な上昇とならない限り、今後も新興国の国債市場への投資資金の流入が期待できると考えています。

為替市場では、新興国経済全般の回復基調が継続する中で、中長期的には新興国への投資資金の流入を背景に、新興国通貨が底堅く推移する展開を想定しています。ただ、F R Bが金融緩和策の縮小や利上げに前向きなタカ派に転換した可能性が高いことや、新興国を中心に新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が残ることから、当面は新興国通貨が対円で軟調に推移する場面もあると見ています。

（運用方針）

<新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>

主要投資対象である「新興国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○新興国債マザーファンド

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2020年8月13日～2021年8月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	130 (62) (60) (8)	1.430 (0.682) (0.660) (0.088)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他1) (その他2)	14 (6) (1) (0) (6)	0.150 (0.070) (0.013) (0.000) (0.067)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他1は、中国の債券取引に係る費用 その他2は、クレジット・リンク・ノートの発行体に関する年間手数料等
合 計	144	1.580	
期中の平均基準価額は、9,124円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

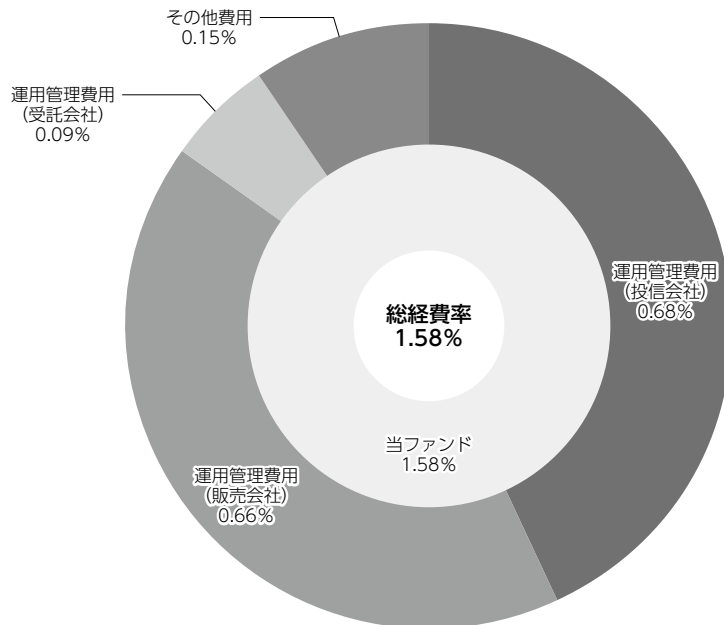
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年8月13日～2021年8月12日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
新興国債マザーファンド	千口 2,255	千円 2,809	千口 15,448	千円 19,651

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2020年8月13日～2021年8月12日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2021年8月12日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期	期末
	口数	口数	評価額
新興国債マザーファンド	千口 431,098	千口 417,906	千円 536,633

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2021年8月12日現在）

項目	当期	期末
	評価額	比率
新興国債マザーファンド	千円 536,633	% 97.7
コール・ローン等、その他	12,665	2.3
投資信託財産総額	549,298	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）新興国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（4,159,059千円）の投資信託財産総額（4,820,109千円）に対する比率は86.3%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝110.37円、1メキシコペソ＝5.5373円、1ブラジルリアル＝21.1397円、1ペルーソル＝26.9644円、1トルコリラ＝12.7942円、1ポーランドズロチ＝28.2914円、1ロシアルーブル＝1.50円、1マレーシアリンギット＝26.0504円、1インドネシアルピア＝0.0077円、1南アフリカランド＝7.52円、1オフショア元＝17.0402円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年8月12日現在）

項目	当 期 末
	円
(A) 資産	549,298,893
コール・ローン等	12,665,605
新興国債マザーファンド(評価額)	536,633,288
(B) 負債	9,804,425
未払収益分配金	5,894,453
未払信託報酬	3,874,223
未払利息	9
その他未払費用	35,740
(C) 純資産総額(A－B)	539,494,468
元本	589,445,364
次期繰越損益金	△ 49,950,896
(D) 受益権総口数	589,445,364口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,153円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は49,950,896円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9153円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は592,435,786円、期中追加設定元本額は5,882,584円、期中一部解約元本額は8,873,006円です。

○損益の状況（2020年8月13日～2021年8月12日）

項目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 886
受取利息	27
支払利息	△ 913
(B) 有価証券売買損益	29,725,688
売買益	29,994,405
売買損	△ 268,717
(C) 信託報酬等	△ 7,822,130
(D) 当期損益金(A+B+C)	21,902,672
(E) 前期繰越損益金	△ 19,601,016
(F) 追加信託差損益金	△ 46,358,099
(配当等相当額)	(342,340,980)
(売買損益相当額)	(△388,699,079)
(G) 計(D+E+F)	△ 44,056,443
(H) 収益分配金	△ 5,894,453
次期繰越損益金(G+H)	△ 49,950,896
追加信託差損益金	△ 46,358,099
(配当等相当額)	(342,353,542)
(売買損益相当額)	(△388,711,641)
分配準備積立金	94,311,336
繰越損益金	△ 97,904,133

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第14期
(a) 配当等収益(費用控除後)	25,354,431円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	342,353,542円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	74,851,358円
分配対象収益(a+b+c+d)	442,559,331円
分配対象収益(1万口当たり)	7,508円
分配金額	5,894,453円
分配金額(1万口当たり)	100円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	100円
支払開始日	2021年8月18日(水)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

新興国債マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

新興国債マザーファンド

第14期 運用状況のご報告

決算日：2021年8月12日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてJPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	新興国の国債等を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）		債券組入率	債券先物率	純資産額
	期騰落	中率	（参考指数）	期騰落			
10期(2017年8月14日)	円	%	ポイント		%	%	百万円
	11,509	16.3	243.447		82.5	—	8,774
11期(2018年8月13日)	10,898	△ 5.3	234.055	△	82.4	—	7,091
12期(2019年8月13日)	11,726	7.6	244.435		88.6	—	6,251
13期(2020年8月12日)	12,143	3.6	249.800		82.5	—	5,379
14期(2021年8月12日)	12,841	5.7	269.446		85.0	—	4,820

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当該日前営業日のデータです。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率 比
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期 首) 2020年8月12日	円 12,143	% -	ポイント 249.800	% -	% 82.5	% -
8月末	12,138	△0.0	248.457	△ 0.5	85.6	-
9月末	11,919	△1.8	244.179	△ 2.3	87.7	-
10月末	11,965	△1.5	244.784	△ 2.0	91.0	-
11月末	12,543	3.3	256.281	2.6	95.2	-
12月末	12,860	5.9	262.760	5.2	86.6	-
2021年1月末	12,733	4.9	261.314	4.6	90.6	-
2月末	12,601	3.8	262.649	5.1	93.4	-
3月末	12,465	2.7	261.471	4.7	97.5	-
4月末	12,679	4.4	266.899	6.8	96.3	-
5月末	13,023	7.2	274.751	10.0	96.3	-
6月末	13,046	7.4	273.444	9.5	96.6	-
7月末	12,907	6.3	270.543	8.3	84.4	-
(期 末) 2021年8月12日	12,841	5.7	269.446	7.9	85.0	-

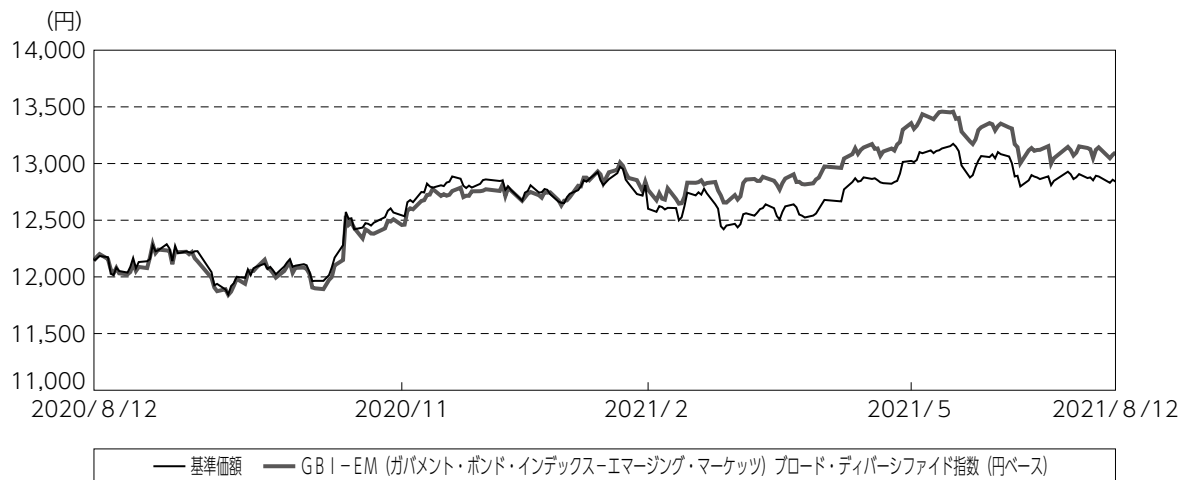
(注) 騰落率は期首比。

G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年8月13日～2021年8月12日)



(注) 参考指数は、GB I-E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。

(注) 参考指数は、期首 (2020年8月12日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。また、インドネシア、南アフリカなどの投資国において国債利回りが低下したことを受けて、保有債券の価格が上昇したこと。
- ・南アフリカランド、メキシコペソ、中国人民元など多くの投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ブラジル、トルコ、ペルーなどの投資国において国債利回りが上昇したことを受けて、保有債券の価格が下落したこと。
- ・ペルーソル、トルコリラなどの投資通貨が対円で下落したこと。

投資環境

(2020年8月13日～2021年8月12日)

＜新興国の国債市場＞

新興国の国債市場では、先進国の国債利回りの上昇に連動し利回り上昇（価格下落）のスタートとなりましたが、2020年11月に実施された米国の大統領選挙後は投資家の利回り追求の動きが強まり、利回りは低下（価格は上昇）しました。2021年に入ると、米国の大規模な追加財政政策の成立や新型コロナウイルスのワクチン接種進展が世界経済の回復につながるとの見方を背景に、先進国の国債利回りが大幅上昇した影響から、3月末にかけて新興国の国債利回りの上昇基調が鮮明となりました。その後は、世界経済の回復ペースの鈍化懸念から、5月中旬以降、先進国の国債利回りが低下基調となりましたが、新興国の国債利回りは全般的に高止まりする展開が続きました。当期間においては、インドネシアと南アフリカの国債利回りが低下したものの、ブラジル、トルコなどを筆頭に多くの投資国で国債利回りが上昇しました。

＜為替市場＞

為替市場では、欧州における新型コロナウイルスの感染再拡大や米国の大統領選挙に対する不透明感等を背景に、2020年10月末までは新興国通貨全般が対円で上値の重い展開となりました。しかし、米国の大統領選挙後は投資家のリスク選好の動きが強まり、新興国通貨が対円で急反発しました。2021年に入ると、世界的な景気回復期待の高まりに加え、内外金利差の拡大に伴い円安圧力が強まったことを受けて、6月中旬までは、新興国通貨全般が対円で堅調に推移する展開が続きました。しかし、その後は、世界経済の回復ペースの鈍化懸念が徐々に高まったことや、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融緩和策の縮小や利上げに前向きなタカ派に転換したとの観測が台頭したこと等を受けて、新興国通貨が対円で上げ幅を縮小する動きとなりました。当期間においては、投資していた11通貨のうち、南アフリカランド、メキシコペソ、中国人民元などを筆頭に8通貨が対円で上昇する一方、トルコリラ、ペルーソルなど3通貨が対円で下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年8月13日～2021年8月12日)

J Pモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本及び円は除いています）に投資を行いました（インドへの投資はクレジット・リンク・ノート（CLN）*を通じて行いました）。当期間における新興国の国債及び通貨の投資比率は、投資環境に応じて、機動的に変化させました。特に、新興国通貨の下落リスクが懸念される場面では、新興国の国債及び通貨の投資比率引き下げや一部投資通貨に対する為替ヘッジを行い、ファンドの為替変動リスクの軽減を図りました。為替ヘッジに関しては、2021年1月下旬から2月上旬（純資産比12%程度）、3月下旬から4月上旬（純資産比30%弱）に実施しました。また、2021年1月下旬から2月上旬にかけては、米国債を8%弱組入れました。期末時点の新興国国債の投資比率は85.0%、外貨の投資比率は86.3%、投資国上位は、インドネシア、中国、メキシコとなっています。前期末からの主な変化は、中国やトルコなどの投資比率が上昇する一方、マレーシアやブラジルなどの投資比率が低下しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.53年となり、前期末と比較し長期化となりました。

*クレジット・リンク・ノート（CLN）は、現地通貨建ての新興国国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券です。クレジット・リンク・ノート（CLN）は、米ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて前述の分類を行っています。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年8月13日～2021年8月12日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPモルガン社の「GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）」の騰落率を2.2%下回りました。

今後の運用方針**（投資環境の見通し）**

先進国の国債市場では、各国の中央銀行による金融緩和策の縮小が視野に入る一方、中国経済を筆頭に世界経済の回復ペース鈍化への懸念が高まりつつあり、当面は一進一退の展開になると想定しています。新興国においては、先進国の中央銀行の金融政策を睨んで、利回り上昇圧力が強まる場面があると見ています。しかし、先進国との利回り格差が依然として高水準を維持していることから、先進国の国債利回りが大幅な上昇とされない限り、今後も新興国の国債市場への投資資金の流入が期待できると考えています。

為替市場では、新興国経済全般の回復基調が継続する中で、中長期的には新興国への投資資金の流入を背景に、新興国通貨が底堅く推移する展開を想定しています。ただ、FRBが金融緩和策の縮小や利上げに前向きなタカ派に転換した可能性が高いことや、新興国を中心に新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が残ることから、当面は新興国通貨が対円で軟調に推移する場面もあると見ています。

（運用方針）

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年 8 月13日～2021年 8 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	17 (9)	0.135 (0.070)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他 1)	(0)	(0.000)	その他 1 は、中国の債券取引に係る費用
(そ の 他 2)	(8)	(0.064)	その他 2 は、クレジット・リンク・ノートの発行体に関する年間手数料等
合 計	17	0.135	
期中の平均基準価額は、12,573円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2020年 8 月13日～2021年 8 月12日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 3,915	千米ドル 3,886
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 115,711	千メキシコペソ 131,164
	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 16,031	千ブラジルリアル 24,298
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 14,441	千トルコリラ -
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 20,752	千ポーランドズロチ 23,866
	ロシア	国債証券	千ロシアルーブル 321,850	千ロシアルーブル 372,114
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングgit 1,103	千マレーシアリングgit 12,996
	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 5,575,000	千インドネシアルピア 9,874,000
国	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 97,833	千南アフリカランド 116,877
	中国オフショア	国債証券	千オフショア元 21,178	千オフショア元 -

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年8月13日～2021年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年8月12日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額	5 年 以 上			2 年 以 上	2 年 未 満	
ア メ リ カ (クレジット・リンク・ノート)	千米ドル 3,350	千米ドル 3,313	千円 365,693	% 7.6	% —	% —	% 7.6	% —
メ キ シ コ	千メキシコペソ 77,000	千メキシコペソ 80,791	447,369	9.3	—	9.3	—	—
ブ ラ ジ ル	千ブラジルリアル 14,000	千ブラジルリアル 14,272	301,709	6.3	6.3	6.3	—	—
ペ ル ー	千ペルーソル 11,000	千ペルーソル 12,951	349,223	7.2	—	7.2	—	—
ト ル コ	千トルコリラ 20,000	千トルコリラ 15,292	195,652	4.1	4.1	3.6	0.5	—
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 8,000	千ポーランドズロチ 8,680	245,581	5.1	—	3.8	—	1.2
ロ シ ア	千ロシアルーブル 165,000	千ロシアルーブル 166,623	249,935	5.2	—	5.2	—	—
マ レ ー シ ア	千マレーシアリンギット 12,000	千マレーシアリンギット 12,553	327,028	6.8	—	2.8	4.0	—
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 81,000,000	千インドネシアルピア 87,798,420	676,047	14.0	—	11.3	2.7	—
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 55,000	千南アフリカランド 53,421	401,726	8.3	8.3	8.3	—	—
中 国 オ フ シ ョ ア	千オフショア元 30,000	千オフショア元 31,452	535,948	11.1	—	11.1	—	—
合 計	—	—	4,095,917	85.0	18.7	69.0	14.7	1.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

新興国国債マザーファンド

(B) 外国 (外貨建) 公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当期				償還年月日
		利率	額面金額	評価額		
		%	千米ドル	外貨建金額 千米ドル	邦貨換算金額 千円	
アメリカ (クレジット・リンク・ノート)						
	普通社債券 (含む投資法人債券) CS INT(INRCLN) 8.4 2407A	—	3,350	3,313	365,693	2024/7/31
小	計				365,693	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券 MEXICAN BONOS 7.5	7.5	5,000	5,171	28,633	2027/6/3
	MEXICAN BONOS 7.75	7.75	72,000	75,620	418,735	2031/5/29
小	計				447,369	
ブラジル			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
	国債証券 BRAZIL NTN-F 10	10.0	14,000	14,272	301,709	2029/1/1
小	計				301,709	
ペルー			千ペルーソール	千ペルーソール		
	国債証券 PERU B SOBERANO 8.2	8.2	11,000	12,951	349,223	2026/8/12
小	計				349,223	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ		
	国債証券 TURKEY GOVT BOND 10.4	10.4	2,000	1,701	21,767	2024/3/20
	TURKEY GOVT BOND 10.5	10.5	12,000	9,061	115,933	2027/8/11
	TURKEY GOVT BOND 11.7	11.7	6,000	4,529	57,951	2030/11/13
小	計				195,652	
ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券 POLAND GOVT BOND 2.75	2.75	6,000	6,554	185,426	2029/10/25
	POLAND GOVT BOND 5.75	5.75	2,000	2,126	60,154	2022/9/23
小	計				245,581	
ロシア			千ロシアルーブル	千ロシアルーブル		
	国債証券 RUSSIA-OFZ 7.05	7.05	165,000	166,623	249,935	2028/1/19
小	計				249,935	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券 MALAYSIA GOVT 3.882	3.882	7,000	7,318	190,642	2025/3/14
	MALAYSIA GOVT 3.885	3.885	5,000	5,235	136,385	2029/8/15
小	計				327,028	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
	国債証券 INDONESIA GOV' T 10	10.0	15,000,000	17,161,200	132,141	2024/9/15
	INDONESIA GOV' T 7	7.0	42,000,000	43,977,780	338,628	2030/9/15
	INDONESIA GOV' T 8.25	8.25	24,000,000	26,659,440	205,277	2036/5/15
小	計				676,047	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券 REP SOUTH AFRICA 10.5	10.5	8,000	9,061	68,143	2026/12/21
	REP SOUTH AFRICA 8	8.0	47,000	44,359	333,583	2030/1/31
小	計				401,726	
中国オフショア			千オフショア元	千オフショア元		
	国債証券 CHINA GOVT BOND 3.29	3.29	10,000	10,276	175,115	2029/5/23
	CHINA GOVT BOND 3.82	3.82	20,000	21,175	360,833	2027/11/2
小	計				535,948	
合	計				4,095,917	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 米ドル建ての債券は、全て現地通貨建ての新興国国債にパフォーマンスが概ね連動するクレジット・リンク・ノートです。銘柄名に (INRCLN) とあるものはインドの現地通貨建ての国債に連動する債券です。

(注) クレジット・リンク・ノートの利率は、連動先債券の通貨とドルとの為替レートの影響を受け変動しますので、「—」と表示しております。

(注) クレジット・リンク・ノート (CLN) は、連動先債券の信用リスクに加え、発行体である金融機関の信用リスクも負っています。当期末現在の発行体は、Credit Suisse Internationalです。

○投資信託財産の構成

(2021年8月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 4,095,917	% 85.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	724,192	15.0
投 資 信 託 財 産 総 額	4,820,109	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(4,159,059千円)の投資信託財産総額(4,820,109千円)に対する比率は86.3%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=110.37円、1メキシコペソ=5.5373円、1ブラジルレアル=21.1397円、1ペルーソル=26.9644円、1トルコリラ=12.7942円、1ポーランドズロチ=28.2914円、1ロシアルーブル=1.50円、1マレーシアリングギット=26.0504円、1インドネシアルピア=0.0077円、1南アフリカランド=7.52円、1オフショア元=17.0402円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,820,109,348 円
コール・ローン等	661,050,133
公社債(評価額)	4,095,917,433
未収利息	60,777,187
前払費用	2,364,595
(B) 負債	3,731
未払利息	493
その他未払費用	3,238
(C) 純資産総額(A-B)	4,820,105,617
元本	3,753,762,437
次期繰越損益金	1,066,343,180
(D) 受益権総口数	3,753,762,437口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,841円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.2841円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は4,429,857,228円、期中追加設定元本額は2,255,901円、期中一部解約元本額は678,350,692円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
 新興国債オープン(毎月決算型)愛称:アトラス(毎月決算型)
 3,335,856,286円
 新興国債オープン(1年決算型)愛称:アトラス(1年決算型)
 417,906,151円

○損益の状況 (2020年8月13日~2021年8月12日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	322,820,633 円
受取利息	322,904,116
支払利息	△ 83,483
(B) 有価証券売買損益	△ 18,578,582
売買益	434,699,026
売買損	△ 453,277,608
(C) その他費用等	△ 7,012,315
(D) 当期損益金(A+B+C)	297,229,736
(E) 前期繰越損益金	949,161,753
(F) 追加信託差損益金	553,372
(G) 解約差損益金	△ 180,601,681
(H) 計(D+E+F+G)	1,066,343,180
次期繰越損益金(H)	1,066,343,180

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。